

第5回滋賀県透析災害情報伝達シミュレーション訓練実施手順書

1 本手順書について

第5回滋賀県透析災害情報伝達シミュレーション訓練については、「第5回滋賀県透析災害情報伝達シミュレーション訓練実施要領」に定めるもののほか、本手順書に基づき、実施することとする。

2 地震発生の想定

滋賀県地震動予測図ケース3に準じて、平成29年11月14（火）14時55分に高島市を震源としたマグニチュード7.1の地震が発生。

震度は、高島市が震度6強、大津市および草津市が震度6弱、近江八幡市、彦根市および長浜市が震度5強、甲賀市が震度5弱

3 地震による被害想定

停電：高島市の全域、大津市・草津市の一部の地域

断水：高島市の全域、大津市・草津市の一部の地域

上記以外の地域は地震による停電、断水等の被害なし

4 シナリオ概要

湖西圏域および大津圏域の一部の医療機関において透析実施不可となる。

高島市民病院80名（入院12名、外来68名）全員、今津病院54名（外来のみ）全員を圏域外搬送（湖東・湖北圏域への湖上輸送ならびに大津・東近江圏域への陸上輸送）、琵琶湖大橋病院190名のうち、入院20名、外来55名の合計75名を圏域内搬送行う。

5 訓練スケジュール

時 刻	作 業 内 容																		
15:00	災害発生、琵琶湖災害時透析ネットワークホームページ（以下「ホームページ」という。）に被災状況入力依頼のテロップが出る。																		
15:05	<p>県内の全透析医療機関は、ホームページに被災状況を入力する。 高島市民病院および今津病院は、スマートフォンを利用して、琵琶湖災害時透析ネットワークへアクセスし、被災状況を入力する。（入力時のパスワードは「1234」です。）</p> <p>【入力内容】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">透析医療機関名</th> <th style="text-align: center;">入力内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高島市民病院</td> <td>依頼患者数 80名</td> </tr> <tr> <td>今津病院</td> <td>依頼患者数 54名</td> </tr> <tr> <td>琵琶湖大橋病院</td> <td>依頼患者数 75名</td> </tr> <tr> <td>大津市民病院</td> <td>受入患者数 30名</td> </tr> <tr> <td>JCHO 滋賀病院</td> <td>受入患者数 50名</td> </tr> <tr> <td>近江八幡市立総合医療センター</td> <td>受入患者数 50名</td> </tr> <tr> <td>東近江敬愛病院</td> <td>受入患者数 25名</td> </tr> <tr> <td>彦根市立病院</td> <td>受入患者数 40名</td> </tr> </tbody> </table>	透析医療機関名	入力内容	高島市民病院	依頼患者数 80名	今津病院	依頼患者数 54名	琵琶湖大橋病院	依頼患者数 75名	大津市民病院	受入患者数 30名	JCHO 滋賀病院	受入患者数 50名	近江八幡市立総合医療センター	受入患者数 50名	東近江敬愛病院	受入患者数 25名	彦根市立病院	受入患者数 40名
透析医療機関名	入力内容																		
高島市民病院	依頼患者数 80名																		
今津病院	依頼患者数 54名																		
琵琶湖大橋病院	依頼患者数 75名																		
大津市民病院	受入患者数 30名																		
JCHO 滋賀病院	受入患者数 50名																		
近江八幡市立総合医療センター	受入患者数 50名																		
東近江敬愛病院	受入患者数 25名																		
彦根市立病院	受入患者数 40名																		

友仁山崎病院	受入患者数 30名
長浜赤十字病院	受入患者数 30名
市立長浜病院	受入患者数 20名

上記以外の透析医療機関は、依頼患者数および受入患者数を「0名」と入力

ネットワーク接続できない医療機関は、災害情報伝達シート（様式4）にて当該圏域の保健所にFAXにて情報提供する。様式4にて情報を受けた保健所は、ホームページに災害状況を入力する。

15:20 各保健所は、ホームページに入力された情報をもとに、透析医療機関被災状況報告（様式3）を作成する。

15:25 高島保健所は、圏域コーディネーターと透析患者受入調整をするも、圏域内では調整不可のため本部医療班（県庁）に透析医療機関被災状況報告（様式3）を行い、圏域外透析患者の調整を依頼する。（様式5）（高島保健所は本部医療班との連絡に携帯電話を使用）

大津市保健所は、圏域コーディネーターと透析患者受入調整を行い、圏域内患者移送（大津市民病院30名、JCHO滋賀病院45名）を決定し、本部医療班（県庁）へ報告して輸送手段を確保する。

大津市保健所は、患者依頼病院（琵琶湖大橋病院）に電話し、透析患者受入依頼連名簿（様式6）の作成を依頼する。

患者依頼病院（琵琶湖大橋病院）は、様式6は匿名化して、受入れ透析医療機関にFAXする。

依頼元医療機関	受入医療機関	
琵琶湖大橋病院 75名	大津市民病院	30名
	JCHO 滋賀病院	45名

15:30 本部医療班は固定電話にて JCHO 滋賀病院に決定事項を連絡。JCHO 滋賀病院はホームページに決定事項を入力。

15:35 本部医療班（県庁）は、各圏域透析施設被災状況報告書をもとに、本部コーディネーターと相談を行い、受入圏域を決定する。

本部医療班（県庁）は、東近江保健所、彦根保健所および長浜保健所に透析患者受入調整を依頼する。

受入圏域名	受入要請患者数
東近江圏域	60名
湖東圏域	40名
湖北圏域	34名

15:40

東近江保健所、彦根保健所および長浜保健所は、圏域コーディネーターへ電話し、相談して、受入透析医療機関を決定する。

東近江保健所、彦根保健所および長浜保健所は、受入透析医療機関に透析患者受入依頼（様式5）をFAXする。

圏域名	受入透析医療機関	受入要請患者数
東近江圏域	近江八幡市立総合医療センター	40名
	東近江敬愛病院	20名
湖東圏域	彦根市立病院	20名
	友仁山崎病院	20名
湖北圏域	長浜赤十字病院	20名
	市立長浜病院	14名

受入透析医療機関は当該圏域の保健所に受入を電話にて返答する。当該圏域の保健所は、本部医療班に報告する。

15:50

本部医療班は各保健所へ受入透析医療機関について情報提供（様式5）する。

本部医療班は、固定電話にてJCHO滋賀病院に決定事項を連絡。JCHO滋賀病院はホームページに決定事項を入力。

高島保健所は患者依頼病院（高島市民病院、今津病院）に電話し、透析患者受入依頼連名簿（様式6）の作成を依頼する。

患者依頼病院は、様式6を匿名化して、受入透析医療機関にFAXする。

依頼元医療機関	受入医療機関	
高島市民病院 80名	長浜赤十字病院	20名
	市立長浜病院	14名
	彦根市立病院	20名
今津病院 54名	友仁山崎病院	20名
	近江八幡総合医療センター	40名
	東近江敬愛病院	20名

16:00

訓練終了

6 その他

本訓練の実施にあたっては、別紙「第5回滋賀県透析災害情報伝達シュミレーション訓練担当者一覧表」※に記載されている連絡先を使用するものとする。

また、様式6については、訓練のため匿名化(個人が特定されないよう)して作成する。

各保健所は、本訓練実施前に圏域コーディネーターに連絡し、訓練時使用する電話番号や訓練の流れを確認することとする。

災害情報伝達シート

発信年月日	年 月 日	時 分現在
-------	-------	-------

医療機関名			
所在地			
電話		FAX	
報告者			

被災状況	
施設破損	<input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 全壊
ライフライン	停電 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし（自家発電の状況） 断水 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし（貯水量 日 分）
透析液供給装置使用	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 （ ）
水処理施設の状況	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 （ ）
透析コンソールの状況	<input type="checkbox"/> 可（ 台） <input type="checkbox"/> 否（ 台）

他施設への透析依頼患者数	人
自施設への可能受入患者数	人

不足物品・連絡事項

